

2019年1月24日

報道関係各位

GMOクラウド株式会社

スマホで撮るだけ、AIがメーターの点検業務を速く、正確に ハカル エーアイ 回転式メーターに対応した「hakaru.ai byGMO」製品版を提供開始 ～ 「先行申込プラン」の利用エントリー企業を受付中 ～

GMOインターネットグループのGMOクラウド株式会社（代表取締役社長：青山 満 以下、GMOクラウド）は、メーターをスマートフォンで撮影するだけで、AI（人工知能）が画像認識して値を読み取り、集計・台帳記入を自動で行う「hakaru.ai byGMO」（URL：<https://iot.gmocloud.com/hakaru-ai/>）の製品版を、本日2019年1月24日（木）より提供開始いたしました。

「hakaru.ai byGMO」は、2018年7月にβ版を開始し、ご応募いただいた全53社のなかから製造業、ビル管理会社などの31社の企業にご利用、ご評価をいただきました。今回の製品版は、提供期間中にお問い合わせ・ご要望が多かった「回転式メーター（現在は5桁まで計測可能）」に対応したほか、メーター撮影時のスマホの自動シャッター機能も新たに実装しています。

「hakaru.ai byGMO」の製品版は、今後もサービスの精度向上・アプリのバージョンアップを進めてまいります。

<20社限定「先行申込プラン」のエントリー受付開始！>

本日より、月額利用料無料（一定期間内）などのお得な特典の付いた「先行申込プラン」のエントリーを20社限定で受け付けております。サービスの高精度化や導入事例としてのご協力など、一緒に「hakaru.ai byGMO」を育てていただけるお客様向けの特別プランです。「先行申込プラン」でご契約のお客様は、随時新しいサービスをご利用いただけます。

詳細情報やお申し込みは、公式サイト（<https://iot.gmocloud.com/hakaru-ai/>）をご覧ください。



対応メーター



アナログメーター



デジタルメーター

回転式メーター
※5桁タイプ

【「hakaru.ai byGMO」について】（<https://iot.gmocloud.com/hakaru-ai/>）

「hakaru.ai byGMO」は、工場などの既存のメーターと、個別に発行したQRコードと一緒にスマートフォンで撮影するだけで、AIがメーターの値を読み取り・集計できるサービスです。自社開発のAIによる独自の画像認識技術を活用しており、人による目視確認と同等の精度でメーターの値を正確に読み取ることができます。また、導入もメーターにQRコードのシールを貼るだけと手軽で、大規模な設備投資を行う必要はありません。

読み取りに対応しているメーターは、製品版から対応した回転式（5桁）タイプのほか、アナログ、デジタルのメーターに対応しています。読み取った数値は専用のアプリを通じて、リアルタイムにWeb台帳へ記録・集計してグラフ化されるため、工場などの点検業務の効率化や人的ミスの防止につながるほか、異常発生時には管理者へ自動通知する機能も備えているので、迅速な異常検知が可能となります。

【「hakaru.ai byGMO」製品化の背景】

昨今の AI による画像認識の精度は、人間よりも正確な判断ができるほどに進化しつつあります。世界的な画像解析のコンペティション「ILSVRC (ImageNet Large Scale Visual Recognition Challenge)」においても、AI の画像認識のエラー率 (誤答率) は年々低下し、2015 年以降は人間のエラー率を下回る結果を記録しています。このような AI による画像認識技術は、医療やセキュリティなどさまざまな分野で活用が始められています。

一方、工場などの稼働・管理に欠かせない点検業務においては、メーターを目視で読み取り・手書きで紙台帳に記録し、数値を Excel などの台帳に転記して管理するケースが一般的です。その業務負担が大きいことや、異常発生時には管理者に連絡をする必要があるため、その間点検業務の一時中断や、連絡事項の伝え漏れリスクを抱えるなどの課題もありました。

こうした中、点検業務の効率化を目的に、IoT や画像認識技術などを活用したメーター読み取りサービスが登場しています。しかし、既存のメーター読み取りサービスに多い「固定カメラ設置タイプ」の場合、全てのメーターに取り付ける固定カメラを用意する大規模な設備投資や、設置工事のために工場を一時稼働停止する場合もあるなど、導入のハードルが高いのが現状です。

そこで GMO クラウドの IoT で企業をサポートするプロジェクト「IoT の窓口 byGMO」によって、既存のメーターに QR コードを貼りつけ、それをメーターと共にスマートフォンで撮影するだけで、AI がメーターの値を読み取り・集計できる「hakaru.ai byGMO」を開発しました。



【「GMO クラウド株式会社」とは】

1996 年のサービス開始以来、ホスティング事業者として 11 万を超える法人のお客様のサーバー運用実績と国内およそ 6,500 社の販売代理店を有しています。2011 年 2 月にクラウドソリューション「GMO クラウド」を立ち上げクラウドサービス事業に本格的に参入して以降、クラウド事業に軸足を置いて国内のみならず世界へ向けてサービスを展開し、グローバル企業を含む多くの企業に最適な IT インフラを提供しております。また、2007 年より「GlobalSign」の電子認証サービスを連結会社の GMO グローバルサイン株式会社を中心にベルギー、英国、米国、中国、シンガポール、フィリピン、インド、ロシア、ドバイの拠点よりグローバルに展開し、SSL 国内シェア No.1 を 4 年連続取得しています。さらに、2017 年からは IoT 事業を開始し、自動車向け IoT ソリューションの開発や、無料コンサルティングで IoT ビジネスの実現を支援する「IoT の窓口 byGMO」を提供しています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO クラウド株式会社 社長室 広報担当 遠藤・松下
TEL : 03-6415-6100 FAX : 03-6415-6101
E-mail : pr@gmocloud.com

●GMO インターネット株式会社
グループ広報・IR 部 石井
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【GMOクラウド株式会社】 (URL : <https://ir.gmocloud.com/>)

会 社 名	GMOクラウド株式会社 (東証第一部 証券コード : 3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■クラウド・ホスティング事業 ■セキュリティ事業 ■ソリューション事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

【GMOインターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMOインターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■仮想通貨事業
資 本 金	50 億円

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

Copyright (C) 2019 GMO CLOUD K. K. All Rights Reserved.